

## 【RIP】

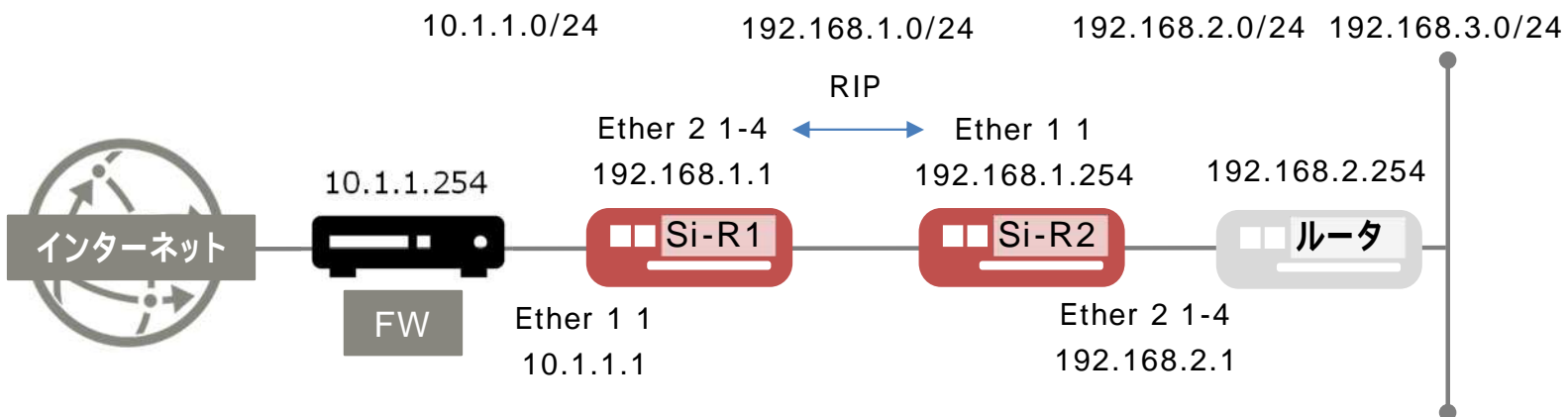
RIP機能を利用した設定例です。

### [対象機種と版数]

Si-R Gシリーズ V20.50以降

### [設定内容]

- ・ Si-R1のEther 1 1側に10.1.1.1/24、Si-R2のEther 1 1側に192.168.1.254/24を割り当てます。
- ・ Si-R1のEther 2 1-4側に192.168.1.1/24、Si-R2のEther 2 1-4側に192.168.2.1/24を割り当てます。
- ・ Si-R1のEther 2 1-4側、Si-R2のEther 1 1側でRIP機能を設定します。
- ・ Si-R1はデフォルトルートとインターフェース経路を配布します。
- ・ Si-R2はスタティック経路とインターフェース経路を配布します。
- ・ RIPはデフォルトでスタティック経路とインターフェース経路の再配布が有効になっています。



## [設定]

### Si-R1設定

```
ether 1 1 vlan untag 1
ether 2 1-4 vlan untag 2
lan 0 ip address 10.1.1.1/24 3
lan 0 ip route 0 default 10.1.1.254 1 1
lan 0 vlan 1
lan 1 ip address 192.168.1.1/24 3
lan 1 ip rip use v2m v2 0 off
lan 1 vlan 2
syslog facility 23
time zone 0900
consoleinfo autologout 8h
telnetinfo autologout 5m
terminal charset SJIS
```

### Si-R2設定

```
ether 1 1 vlan untag 1
ether 2 1-4 vlan untag 2
lan 0 ip address 192.168.1.254/24 3
lan 0 ip rip use v2m v2 0 off
lan 0 vlan 1
lan 1 ip address 192.168.2.1/24 3
lan 1 ip route 0 192.168.3.0/24 192.168.2.254 1 1
lan 1 vlan 2
syslog facility 23
time zone 0900
consoleinfo autologout 8h
telnetinfo autologout 5m
terminal charset SJIS
```

## [解説]

### Si-R1設定解説

```
ether 1 1 vlan untag 1
```

Ether 1 1インタフェースにVLAN1を割り当てます。

```
ether 2 1-4 vlan untag 2
```

Ether 2 1-4インタフェースにVLAN2を割り当てます。

```
lan 0 ip address 10.1.1.1/24 3
```

LAN0側にIPアドレスを設定します。

- ・ 10.1.1.1/24 : lan0 IPアドレス/マスクです。
- ・ 3 : ブロードキャストアドレスのタイプです。通常は3で構いません。

```
lan 0 ip route 0 default 10.1.1.254 1 1
```

LAN0側にデフォルトルートを設定します。

- ・ 10.1.1.254 : ネクストホップです。
- ・ 1 : metric値です。通常は1のままで構いません。
- ・ 1 : distance値です。通常は1のままで構いません。

```
lan 0 vlan 1
```

VLAN ID とlan 定義番号の関連付けを行います。

```
lan 1 ip address 192.168.1.1/24 3
```

LAN1側にIPアドレスを設定します。

- ・ 192.168.1.1/24 : lan1 IPアドレス/マスクです。
- ・ 3 : ブロードキャストアドレスのタイプです。通常は3で構いません。

```
lan 1 ip rip use v2m v2 0 off
```

RIP機能を使用します。

- ・ v2m : RIPv2(Multicast)を送信します。
- ・ v2 : RIPv1, RIPv2 を受信します。
- ・ 0 : 加算メトリック値を設定します。
- ・ off : 受信した RIPv2 パケットを破棄しません。

```
lan 1 vlan 2
```

VLAN ID とlan 定義番号の関連付けを行います。

```
syslog facility 23
```

システムログ情報の出力対象ファシリティの設定をします。通常はこの値で構いません。

```
time zone 0900
```

タイムゾーンを設定します。通常はこのままで構いません。

```
consoleinfo autologout 8h
```

```
telnetinfo autologout 5m
```

シリアルコンソール、TELNETコネクションの入出力がない場合のコネクション切断時間を設定します。

```
terminal charset SJIS
```

ターミナルで使用する漢字コードをShift JISコードに設定します。

## Si-R2設定解説

```
ether 1 1 vlan untag 1
```

Ether 1 1インタフェースにVLAN1を割り当てます。

```
ether 2 1-4 vlan untag 2
```

Ether 2 1-4インタフェースにVLAN2を割り当てます。

```
lan 0 ip address 192.168.1.254/24 3
```

LAN0側にIPアドレスを設定します。

- ・ 192.168.1.254/24 : lan0 IPアドレス/マスクです。
- ・ 3 : ブロードキャストアドレスのタイプです。通常は3で構いません。

```
lan 0 ip rip use v2m v2 0 off
```

RIP機能を使用します。

- ・ v2m : RIPv2(Multicast)を送信します。
- ・ v2 : RIPv1, RIPv2 を受信します。
- ・ 0 : 加算メトリック値を設定します。
- ・ off : 受信した RIPv2 パケットを破棄しません。

```
lan 0 vlan 1
```

VLAN ID とlan 定義番号の関連付けを行います。

```
lan 1 ip address 192.168.2.1/24 3
```

LAN1側にIPアドレスを設定します。

- ・ 192.168.2.1/24 : lan1 IPアドレス/マスクです。
- ・ 3 : ブロードキャストアドレスのタイプです。通常は3で構いません。

```
lan 1 ip route 0 192.168.3.0/24 192.168.2.254 1 1
```

LAN1側にStatic経路を設定します。

- ・ 192.168.3.0/24 : 宛先ネットワーク/マスクです。
- ・ 192.168.2.254 : ネクストホップです。
- ・ 1 : metric値です。通常は1のままで構いません。
- ・ 1 : distance値です。通常は1のままで構いません。

```
lan 1 vlan 2
```

VLAN ID とlan 定義番号の関連付けを行います。

```
syslog facility 23
```

システムログ情報の出力対象ファシリティの設定をします。通常はこの値で構いません。

```
time zone 0900
```

タイムゾーンを設定します。通常はこのままで構いません。

```
consoleinfo autologout 8h
```

```
telnetinfo autologout 5m
```

シリアルコンソール、TELNETコネクションの入出力がない場合のコネクション切断時間を設定します。

```
terminal charset SJIS
```

ターミナルで使用する漢字コードをShift JISコードに設定します。